



代表質問 橋本 潤



学校施設環境改善計画事業

**問** 学校施設環境改善交付金計画事業につきまして、予定されていた財源のうち、国費からの約八億円が交付されないことになってしまいました。しかしながら、本事業には本市の子供たちに直接影響がある小学校・中学校のトイレ施設整備事業、屋内運動場大規模改造事業、校舎大規模改造事業、ガス管改修事業また空調設備事業、給食施設管理事業、そしてこども園整備事業が含まれております。本市の子供たちの安全

や教育環境に大いにかかわる事業であります。議員報酬を三割削減し、また、市長はじめ特別職、そして職員の皆さまの給料の時限的削減をお願いしてでも、是非とも実施していただきたいと考えております。これらの事業を本年度に、また本年度より実施できるようにしてください。

**答** 行政経営部 他の事業計画に影響を与えないよう、必要な財政上の手当てを行い、当初の予定どおり事業を実施したい。



個人質問

速やかに実施可能な震災対策を

**問** 住宅の耐震化が進まない現状である、災害時弱者の老朽化住宅においては直ぐに実施が可能で効果も見込める「不要家財の搬出処分」「家具の固定等」の作業を行政主導で実施すべきである。

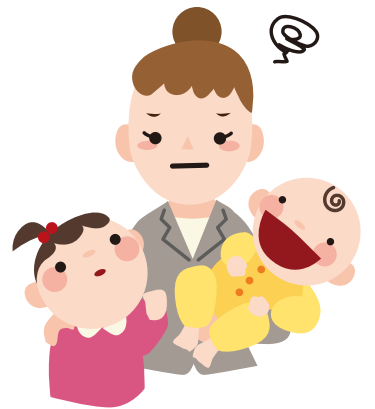
**答** 総務部 地域での自主防災組織の支援を通じ啓発に努めてまいります。

企業の子育て支援と待機児童対策

**問** 社会貢献・CSR(企業の社会的責任)の面から企業の「子育て支援」「両立支援」が望まれる、事例

の把握と補助の状況は？

**答** 都市魅力部 一部の事例は把握している、補助についてはニーズもあり今後の検討課題と捉えている。



斎藤 晃

市長の責任逃れについて

**問** 事務処理規程等の改正により、本年4月から副市長などの専決権等が拡大した。市長はみずからの決裁権を手放すと同時にその責任も放棄したことになるが、市長決裁でなくなった契約等はどの程度あるのか。

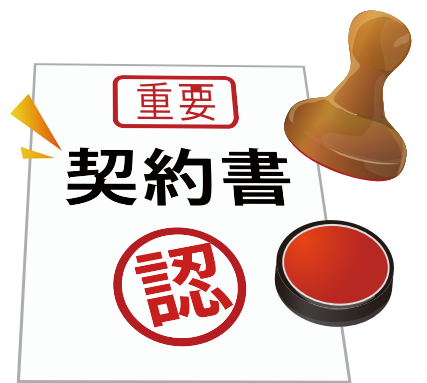
**答** 行政経営部 平成26年度上半期における支出負担行為(契約行為等)から把握した件数では合計339件である。

**問** 市長は、3月定例会で自身の給与を増額し、今度は仕事と責任を減らしている。このような対応に

ついて市民の理解は得られるのか。

**答** 市長 決裁の数を仕事量の指標とする市民がいるとは思っていない。

決裁するということには大きな責任が伴います。先の議会で榎内が追及した文化振興事業団(天下り外郭団体となっている)に対する単独随意契約についても、今後は後藤市長の決裁ではなくなります。やはり市長の責任逃れと言うほかありません。



熊本地震から見る吹田旧市街地の取り組み

**問** 4月14日熊本・大分で地震が起こりました。旧市街地では、消防車や、救急車が入って行くのが困難な場所が多くあります。吹田市で、地震が起きれば火災の被害が多く出であろう予想される地域の3か所はどこか？

**答** 上町断層を震源とする地震発生では、吹田市全域での被害焼失棟数は6499棟で、特に南部の吹一地区・吹二地区・岸部地区に地震火災が集中するという結果を得ている。

**問** 地震火災が集中する地域について、どのような取り組みをされているか？

**答** 耐震化促進や補助制度のチラシを全戸回覧・集中する地域へ配布、啓発、不燃化を促進する区域の拡大をしている。

待機児童の解消に向けて

**問** 吹田では、待機児童解消アクションプランで小規模保育事業を進めているが、3歳からの連携施設の確保は大丈夫か？

**答** 市立保育園、市立認定こども園と連携して、受け入れ態勢を強化する。

**問** 病児保育についてはどうか？

**答** 本市の子ども・子育て支援事業計画において、平成29年度までに合計5か所の病児・病後児保育室の設置を目標としている。



榎内 智

井口 直美